



# 令和元年度 第1回まなびあいサロン

6月21日（水）の、第1回まなびあいサロンには、みみちゃん教室や幼稚部の保護者の皆さんなど、13名が参加してくださいました。

テーマ：『きこえにくさを体験しよう』

講師：本校自立活動支援センター 若松まどか先生

## きこえにくさの体験

- 補聴器や人工内耳を装用しても全てを聞き取れるわけではない。
- 音がこもってきこえたり、部分的にしか聞き取れなかったりする。

## 読話体験

- 同じ口形のことばは読み取りが難しい。
- はっきりと口を動かす人ばかりではないので、読み取りには集中力が必要。
- ヒントがあると理解につながる。

## 学校生活でのきこえにくさ ～若松先生の経験から～



小学校低学年：「こおりおに」を「こーにおに」と理解。「こーって何？」しばらくして、「氷」と結びつき意味を理解した。

小学校高学年：聞き取れたことばを手掛かりに会話に入ろうとするが、話題とずれてしまう。

中学校：宿題のページ数や問題番号が、1なのか7なのか？など聞き取れない。

## ☆きこえにくさの理解のために☆

- お子さんが自分のきこえについて考える機会を設けましょう。
- お子さんが疑問を持つことを大切にしましょう。
- 多くの経験の共有と情報提供をしましょう。
- お子さんの気持ちに応じた言葉かけをしましょう。



## ～参加者の感想～

☆体験談を聞いて、こんなにききにくいとは思いませんでした。今後、子どもにどう接すればいいか考えたいと思います。

☆きこえにくさを実際に体験することで、子どものきこえに対する理解や接し方を少しでも深められると思いました。

☆困っていることは何か、その時その時の気持ちに寄り添える存在になりたいと思いました。